

# 子どもの発達と家庭教育

静岡大学教育学部 弓野憲一

## 1. 日本の子育てとアメリカの子育て

留学体験から オマハ、イサカ

### アメリカ

- ・ 自立・独立
- ・ 感情の制御
- ・ I

張しない・私心がない

- ・ 公と私の区別
- ・ 主張しないととおらない
- ・ その子らしいものをつくる
- ・ ドロップ・イン センター
- ・ 帰国してから

### 日本

- ・ 甘え・たよる
- ・ 発散が許される
- ・ 私がない・私を主

- ・ 峻別できない
- ・ 相手をおもいやる
- ・ まねをする

## 2. 男の子を育てる

- ・ ドロップアウトする大学生
- ・ アメリカ 父親の役割 野球・魚つりを教える



エジソン

アインシュタイン

これからはいずれが要求されるか

## 5. 創造性を育てる

ものづくりの基礎

- ・はがす-くっつける → はる
- ・破る → 切る
- ・落とす → 通す → 縫う

\*\*やがてこれは 大きくなった時 創造活動へつながる

## 6. 家庭で伸ばす好奇心と創造性

- ①小さい時期に、海・山・川等の自然体験
- ②親子の研究プロジェクトを提唱する。
- ③子どもが興味を示した分野の中に、数学でいう「関数」や「測量」や「図形」等の概念が含まれていれば、それについても子どもと考える。たとえば、「ピラミッドの高さはどんなにして測ったのだろう？」
- ④人間の歴史、人間と動物、人間の「創造」についての本や記録を読んで語り合う。
- ⑤宇宙や天体等を見、またそれについて書かれた本等を読んで語り合う。

⑥視聴のみに終始するテレビ番組を精選する。

⑦両親が確かな趣味を持つ。子どもの人生における最初のモデルは両親である。

⑧子どもが発した質問に直ぐに答えるのではなく、調べる方法を教えたり、時には自分で推理させたする。そして、答えのみではなく、思考の過程が重要であることを伝える。

⑨身の周りにあるガラクタの利用方法を子どもと一緒に考える。

⑩部屋で模型組み立て・彫刻・簡単な科学実験をするための作業BOXを作る。

⑪もしインターネットがあれば、それを通して、外の世界を見させ、語り合う。

⑫子どもの発想を笑わない。

⑬間違いをおそれない心をつくる

## 7. 子どもがもっている7つの特性

①学力      ②創造性      ③巧緻性      ④共感性      ⑤判断力

⑥モチベーション（やる気）      ⑦人格